

- 問1 近畿地方の東部に位置する三重県の産業について述べた文として、地形や立地との関係が最も適切なものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 内陸部には世界的な企業の工場を含む輸送用機械の拠点が位置し、沿岸部には鉄鋼業が立地している。また、複雑に入り組んだリアス海岸では真珠の養殖業が盛んである。
 2. 干拓によって広げられた平野部で大規模な稲作が行われ、リアス海岸の入り江では、その激しい潮流を利用した遠洋漁業の基地が数多く整備されている。
 3. 山地を切り開いた扇状地での果樹栽培が盛んであり、沿岸部には石油化学コンビナートが集中する一方、内陸部では伝統的な繊維工業が現在も最も大きな割合を占めている。
 4. 広大な砂丘を利用したスプリンクラーによる農業が発達しており、内陸部では食料品工業、沿岸部では造船業がそれぞれ地域の主要な産業となっている。
- 問2 近畿地方の各府県を比較した統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり300人未満という低い水準にある府県で見られる、人口増減率と高齢化率の特徴として正しいものはどれですか。（2015年 岡山県公立入試 類似）
1. 人口増減率がマイナス（減少）を示しており、高齢化率は地域内の平均よりも低い。
 2. 人口増減率がマイナス（減少）を示しており、高齢化率が地域内で最も高い水準にある。
 3. 人口増減率がプラス（増加）を示しているが、高齢化率は地域内で最も高い水準にある。
 4. 人口増減率がプラス（増加）を示しており、高齢化率が地域内で最も低い水準にある。
- 問3 2012年から2016年にかけての統計資料によると、東京都、北海道、大阪府のなかで、宿泊施設の客室稼働率が83.3パーセントと最も高い数値を示した自治体はどこですか。当時の延べ宿泊者数および外国人延べ宿泊者数がいずれも増加傾向にあった背景を踏まえて答えなさい。（2019年 大阪府公立入試 類似）
1. 沖縄県
 2. 大阪府
 3. 北海道
 4. 東京都
- 問4 東大阪市で行われている、中小企業のネットワークを活かしたもののづくりの事例と、その産業構造上の特徴について述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 1事業所あたりの従業員数は比較的少ないが、各企業が専門技術を分担し、人工衛星などの製造に関わっている
 2. 新幹線の部品などの精密な製品は、技術漏洩を防ぐためにすべて特定の巨大企業が独占的に製造している
 3. 1事業所あたりの従業員数が非常に多く、大規模な工場での自動化による大量生産を主な強みとしている
 4. 企業間の連携を禁止し、それぞれの企業が独立して独自のブランド製品のみを市場に供給している
- 問5 香川県や岡山県など、瀬戸内海に面した地域で全国的に見ても「ため池」が非常に多く作られている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）
1. 年間を通じて降水量が少なく、稲作などに必要な農業用水を確保するために水を貯めておく必要があるから。
 2. 急峻な地形により河川の長さが短く、生活用水を確保するための小規模なダムとして利用するため。
 3. 冬の季節風による降雪量が多く、春先の雪解け水を一時的に貯蔵して洪水被害を防ぐ必要があるから。
 4. 大規模な灌漑施設の整備が困難な山間部において、地下水を汲み上げて貯蔵しておくため。
- 問6 滋賀県にある主要な城郭の変遷をたどると、戦国時代初期の小谷城などは険しい山の上に築かれていましたが、その後の長浜城、彦根城、安土城、大溝城、坂本城はいずれも琵琶湖の湖岸近くに位置しています。このように、有力な武将たちが拠点を湖岸へと移していった歴史的背景に関連する記述として、誤っているものはどれですか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
1. 船を活用することで、陸路よりも大量の兵員や重い軍需物資を迅速に輸送することが可能であった。
 2. 城の周囲に水を引き込んだり湖に面したりすることで、敵による包囲や攻城を困難にする防御上の利点があった。
 3. 湖上の交通の要所を支配することで、年貢や特産物の流通を管理し、経済的な利益を得る目的があった。
 4. 当時は鉄砲が伝来する前であったため、矢の届かない広い水面を確保して安全に生活することが唯一の目的であった。
- 問7 温州みかんの生産量で全国1位の和歌山県や、それに続く愛媛県、静岡県といった地域に共通する、みかんの栽培に適した自然条件や地形の工夫として最も適切なものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 冬の寒さが厳しく、病害虫の発生を抑えられる降雪量の多い地域を利用している
 2. 日当たりが良く、水はけの優れた沿岸部などの山の斜面を利用している
 3. 稲作が困難なほど降水量が少ないため、灌漑設備を整えた広大な平野を利用している
 4. 冷涼な気候を好み、昼夜の温度差が激しい標高の高い火山灰土の高原を利用している
- 問8 大阪府の産業と人口の特徴について述べた文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。なお、大阪府の統計では、製造品出荷額が約17兆円と極めて高い一方で、農業産出額は約300億円と非常に少なく、昼間人口比率は104.4という数値を示しています。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
1. 農業産出額が全国的に高いため、食料自給率が非常に高い産業構造である
 2. 郊外への人口流出が激しいため、昼間人口比率が100を下回っている
 3. 製造品出荷額が低いため、サービス業よりも農業に従事する人口が圧倒的に多い
 4. 周辺地域から通勤・通学者が流入するため、昼間人口が夜間人口を上回っている
- 問9 近畿地方の地形的な特徴を、土地の高さを示す断面図から読み取る場面を想定します。三重県東部を南北に結ぶ断面や、和歌山県の紀伊山地を南北に貫く断面では、標高の高い険しい山地が連続する様子が見られます。これに対し、大阪周辺を東西に結ぶ断面において、中央部分に広がる平坦な地形の名称として最も適切なものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
1. 大阪平野
 2. 志摩半島
 3. 濃尾平野
 4. 京都盆地
- 問10 兵庫県の工業について、瀬戸内海の臨海部と、綿織物などの伝統が残る内陸部や諸地域の産業構造を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）
1. 内陸部に大規模な石油精製施設が集中する一方、臨海部ではタオルなどのブランド化された繊維工業が中心となっている。
 2. 播磨や阪神の臨海部では伝統的工芸品の生産が中心であり、但馬や丹波の内陸部で重化学工業が発達している。
 3. 臨海部では石油化学コンビナートなどの重化学工業が発達する一方、内陸部では地域に根ざした地場産業が受け継がれている。
 4. 県内全域で先端技術産業への転換が進んだため、伝統的な地場産業や重化学工業の製造品出荷額は大幅に減少している。
- 問11 和歌山県において、ミカンの栽培が盛んに行われている理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 冬の積雪から果実を守るために、ビニールハウスなどの施設を利用した促成栽培が中心となっている。
 2. 黒潮の影響による温暖な気候と長い日照時間を活かし、水はけの良い傾斜地で栽培されている。
 3. 夏の季節風による多雨と、広大な平野部にある肥沃な土壌を利用して栽培されている。
 4. 冷涼な気候を好み果樹であるため、標高の高い山地や高冷地を拓いて大規模に栽培されている。